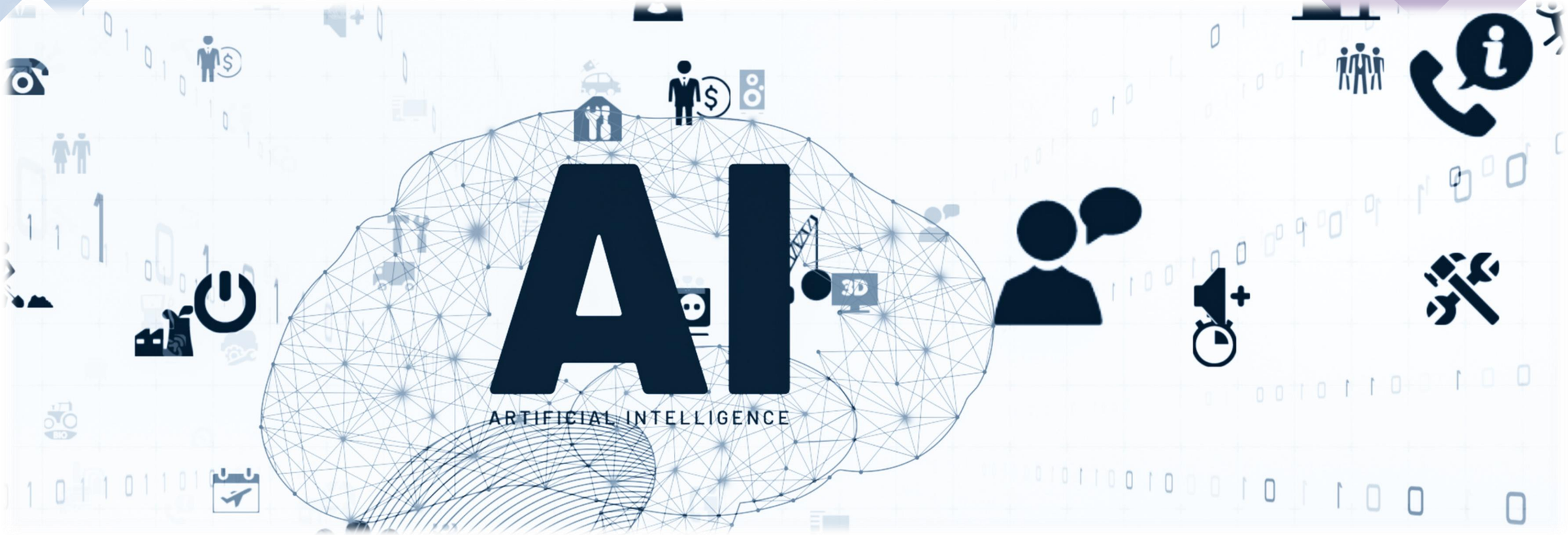
AIを使えていると思う…　→　AI使えている！！　に変える
生成AIの進化と政府の助成金制度を追い風に今こそ、企業にとってAI人材育成の絶好のチャンスです



DX化支援研修サービス

DX Support Training Service

AI活用実践編

HOAP

会 社 概 要

社名	—	株式会社HOAP
代表取締役	—	小川裕之
住所	—	東京都渋谷区恵比寿1-18-18 東急不動産恵比寿ビル8F
設立	—	2018年10月1日
資本金	—	1,000万円
TEL	—	03-6821-6151
MAIL	—	info@hoap.tokyo
URL	—	https://hoap.tokyo

ご提案の概要

本研修プログラム、【AI活用実践編】は企業のDX推進を支援することを目的に、生成AIツールを活用した実践的な課題解決スキルを習得するカリキュラムです。

受講者は、生成AIの活用法とその組み合わせによる解決アプローチを体系的に学び、業務効率の向上、新たなアイデアの抄出、革新的なビジネスモデルの提案を可能にします。

人材育成はDXの鍵を握る要素であり、本プログラムで得られる実践力は、企業の競争力と価値の向上に大きく貢献します。

Perplexity
ChatGPT
Mapify
Notion
tl;dv
Napkin
Writesonic
Gamma
イルシル
Genspark
Canva
ImageFX

なぜ今、AI研修なのか

ChatGPTの登場

この1年で生成AIの利便性が
圧倒的に向上しました。

1

デジタル人材育成

デジタル人材の育成は、
今や企業にとって最重要課題です。

2

政府の支援

3

国500億円規模の予算を投じて、
人材育成を支援しています。

利用できる助成金の基本情報

★ 助成金を活用することで、研修費用の負担を大幅に軽減
★ 企業がAI人材育成に取り組む絶好のチャンスです

人材開発支援助成金
｜
事業展開等リスキリング支援コース

1.助成金の対象

新たな商品サービスの提供や新分野進出、
DX化による業務効率化が対象

2.助成率

中小企業75%、大企業60%
と高い助成率

3.年間最大助成額

1事業所当たり　1億円

4.従業員1人あたりの経費助成限度

研修時間10時間～100時間の場合、
中小企業30万円、大企業20万円

AI活用実践編

ー 主に学び、習得できること ー

☑ 分析・戦略案のアイデア出し

☑ 市場調査・各種資料制作

☑ 議事録自動化から情報共有

1

ストーリーで学ぶからわかりやすいすぐ使える12のAI

12種のAIについてストーリー形式で学べます
利用シーンを学べるから即実践に最適

2

ストーリー概要

販売に苦しむ文房具店を舞台に、AIを活用することで
危機を脱し、業績拡大中に生まれる課題を解決していく
分かり易いストーリー

3

AIの理解が、アイデアと課題解決の武器になる

受講者は、生成AIの可能性について幅広く理解できる
ようになり、その結果として新しいアイデアを思いつい
たり、ビジネスの工夫を考え、今ある課題を解決する
ためのヒントを得られるようになります

こんな法人様に最適な研修内容です

AIは使っているけど、
使いこなせているか不安

主に複数の生成AIの
掛合わせについて学びます

最近、業務が忙しくて
他に手が回らなくなってきた

AIを使った業務効率化で、
時間とリソースを最大化します

現場で使える
AIスキルを身につけたい

実践的なAIスキルを短時間で習得し、
即利活用が見込めます

従来の研修課題

一般的な研修には、
○　途中で飽きてしまいやすい
○　学んだことが実務に活かしづらい
といった課題がよく見られます

内容が難しい

内容が硬すぎる

活用シーンを
想像できない

構成の工夫

受講者が実際の活用イメージを描きやすい工夫を随所に取り入れました
その結果、楽しみながら自然とスキルの応用力が身につく内容になっています

興味喚起	疑似体験	実体験	イメージ・発見
AIツール紹介	ストーリー	登録方法 機能の利用方法	活用方法
なんとなく 便利そう！	ストーリーで 疑似体験	自身で 使ってみる	こんな使い方も できるのか！

『 個性的なキャラクター達が課題に直面し、AIを活用して課題解決をしていくストーリー 』

すごい、これは便利ですね！

新商品が好調で文具堂は活気づくが、業務が忙しくなり徐々に社員たちが疲弊・・・
その状況を受けて、IT部門は生成AIツールを活用した業務効率化に乗り出しました

経営状況が厳しかった文具堂も、生成AIとコンテンツの力で何とか状況を立て直し、
次は誰が、どんな課題に直面していくのかを見ていきましょう

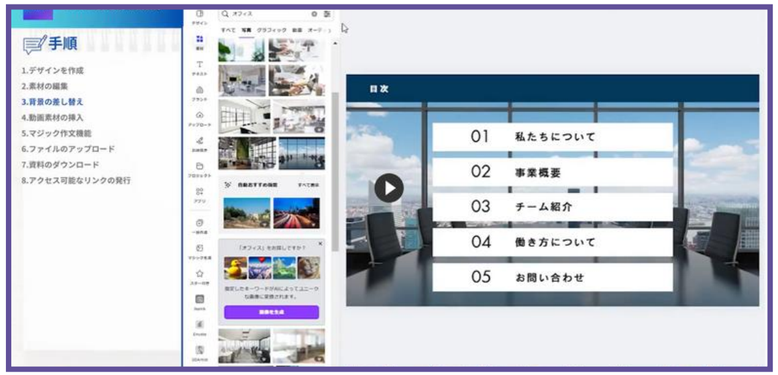
これが本当に使えるツールなら、定時上がりも夢じゃないわよ！！

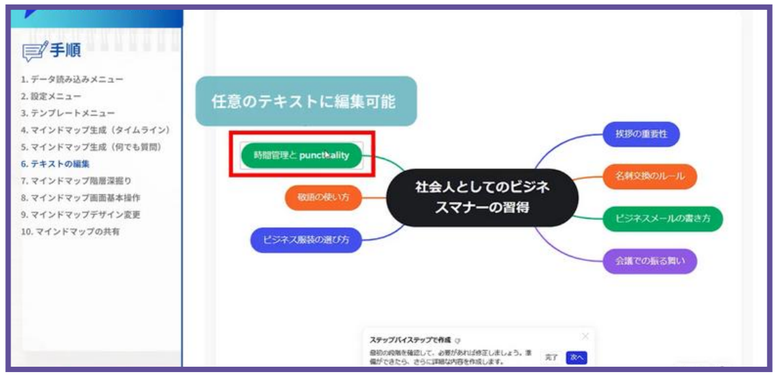
こうしてAIを取り入れる前の文具堂と今では、
まるで別会社のようです！

実際の視聴画面

Writesonic
ChatGPT
一方でWritesonicは、記事を作る前に、競合情報を読み込ませたり、文体を指定したりできるから、こちらが望んだものが出てきやすいといえるね。
息子
ジェットストリーム ボールペン

◆ ChatGPT活用方法の一例 ◆
ビジネス文書の作成 / コンテンツ作成支援
データ分析のサポート


手順
1.デザインを作成
2.素材の編集
3.背景の差し替え
4.動画素材の挿入
5.マジック作文機能
6.ファイルのアップロード
7.資料のダウンロード
8.アクセス可能なリンクの発行
目次
01 私たちについて
02 事業概要
03 チーム紹介
04 働き方について
05 お問い合わせ


手順
1. データ読み込みメニュー
2. 設定メニュー
3. テンプレートメニュー
4. マインドマップ生成（タイムライン）
5. マインドマップ生成（何でも質問）
6. テキストの編集
7. マインドマップ階層深掘り
8. マインドマップ画面基本操作
9. マインドマップデザイン変更
10. マインドマップの共有
任意のテキストに編集可能
時間管理と punctuality
敬語の使い方
ビジネス服装の選び方
社会人としてのビジネスマナーの習得
挨拶の重要性
名刺交換のルール
ビジネスメールの書き方
会議での振る舞い

プロンプトエディター
画像はさっきのクオリティで申し分ないからそのままでいいわ。設定はテキストコンテンツだけにして、差分をみてみましょ。
リサイクル素材を利用した文房具の企画
2. 製品アイデア
エコフレンドリー文房具 リサイクルプラス チックペン
D美

Genspark
Google検索
今年発売された文房具の情報収集で検索
「2024年　新作　文房具」で検索し、

各章で学べるAIと活用方法

標準学習時間 ： 約10.5時間
収録カリキュラム ： 動画76本
全動画120日間見放題

第1章

ChatGPT･･･分析、戦略案のアイデア出し

Writesonic･･･テキスト作成

Canva･･･広告ビジュアル制作

第2章

Genspark･･･市場調査パート

Mapify･･･マインドマップ自動生成
（アイデア創出）

Napkin AI･･･調査内容から図解生成

ChatGPT/Canvas･･･Napkin AIと
組み合わせ企画書を作る

第3章

Tl;dv･･･議事録業務などの効率化

Notion AI･･･ドキュメント制作サービス
（Notion xテキスト自動生成）

ChatGPT/GPTs･･･自社独自の情報を学んだ
AI上司

第4章

イルシル、Gamma･･･営業資料の自動作成

NoLang･･･新商品のプロモーション動画

ImageFX･･･画像作成

LMS機能付きプラットフォームについて

1.直観的に分かりやすいデザイン

お客様からも「直観的に分かりやすい」という評価を多数いただいていて安心です

2.結果の管理

受講者ごとの学習進捗はもちろん視聴日時の記録をCSVデータで出力が可能です

3.飛ばし見防止機能付き

受講者にしっかり学んでいただくため初回のみ飛ばし見防止が作動する設計です

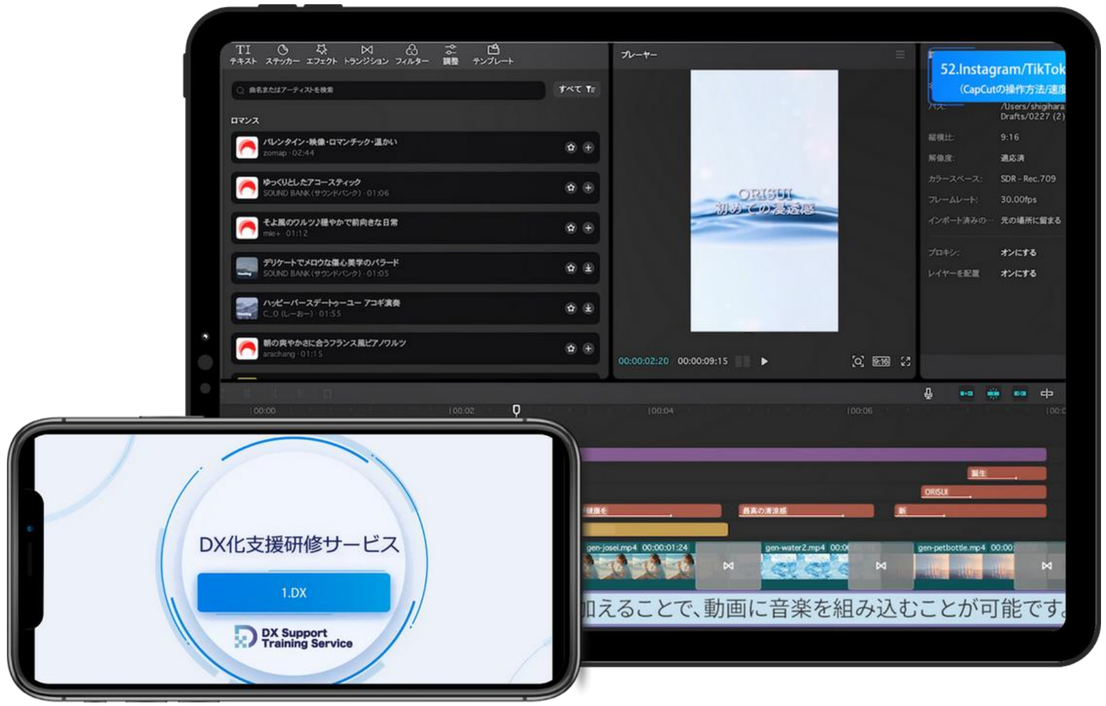
4.受講完了後の修了証明書発行機能付き

受講を完了した証として修了証明書が発行されます

プラットフォーム
イメージ

修了証イメージ

受講料金・サービス料金



AIの利活用に特化した研修をパッケージ化し
LMS機能（学習管理システム）を有した
Eラーニング動画形式です

動画視聴後は日常業務にAIを取り入れて
取り組むことが容易となり、
貴社の業務効率化を強力にバックアップします

AI活用実践編

1人：33万円（税別）

助成率・助成額

助成金の活用：
厚生労働省の「人材開発支援助成金
事業展開等リスキリング支援コース」
の申請が可能です

研修費用の最大**75%**が助成金として
支給されるため、実質的な費用負担
が軽減

助成金を利用しない場合
33万円/人（税別）

33万円/人

研修費用を最大75%
削減できます

（- 247,500円）

82,500円/人

※大企業は最大60%の助成となります
（- 198,000円）

ご契約から助成金入金までの流れ

約10日 — 約45日 — 約3日 — 約45日 — 約10日 — 約2~6ヶ月

01	02	03	04	05	06	07
ご契約	計画申請	申請許可	研修開始	研修完了	助成金申請	助成金入金

→ 約2ヶ月 →

→ 約2~6ヶ月 →

Thank You

AI使えていると思う…　→　AI使えている！　に変える

生成AIの進化と政府の助成金制度を追い風に今こそ、企業にとってAI人材育成の絶好のチャンスです